

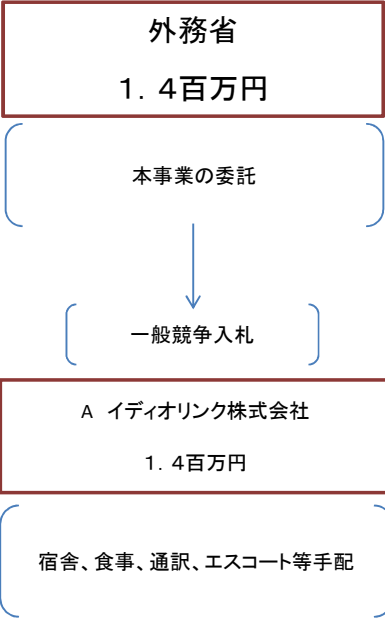
平成23年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	在日米軍オリエンテーション・プログラム開催経費	担当部局庁	北米局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成8年度開始	担当課室	日米地位協定室	室長 鯨 博行				
会計区分	一般会計	施策名	北米地域外交に必要な経費					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項イ	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	確固たる日米安保体制を維持するためには、米軍基地周辺自治体・住民と米軍基地との間の円滑な関係を維持することが不可欠である。かかる考え方の下、実際に我が国に駐留している米軍要員に対し、我が国の政治、文化、経済等及び日米関係や基地周辺自治体の抱える諸問題についての基本的理解を促進することを目的とし、セミナーを開催する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	米軍基地周辺自治体と米軍施設・区域との間に存在する言語・文化習慣の相違、周辺住民の感情に対する配慮・認識不足といった要因が、周辺住民と米軍との間の円滑な関係の構築を阻む大きな要因となっている。そうした事態は、米軍人による事件・事故の素地や米軍駐留に係る諸懸案の解決の阻害要因となり得るものであるところ、本件セミナーを通じて米軍人の対日理解を深めることは、周辺住民との「良き隣人関係」を促進させることや、在日米軍の駐留に伴う日本国民の不安等につき米軍人の認識を高めることになる。更には、参加者が将来米軍幹部として再度日本に赴任することもあり得、長期的な効果が期待できる。また、かかる取組をより積極的に行い、米軍人による事件・事故の未然防止に努めることもこれまで以上に重要となっている。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	2	2	2	2	2	
	執行額		1	1	1			
	執行率(%)		89.3%	94.4%	96.7%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	セミナーへの参加人数 (日米安保の将来を担う人材をできるだけ多く参加させる)		成果実績	人	20	20	20	20
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	セミナーの開催回数(毎年1回実施)		活動実績 (当初見込み)	回	1	1	1 (1)	— (1)
単位当たりコスト	1,484(千円/回)		算出根拠	実績額÷回数				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	委託費	1,531	1,534					
	計	1,531	1,534					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	これまでの開催を通じて、参加者は一様に対日理解が非常に深まったとの評価を示しており、基本的に米軍若手士官を対象として実施してきているところ、在日米軍司令官自身も本件セミナーの意義を積極的に認めている。本件セミナー参加者は、その後の日本勤務において、米軍駐留に係る諸問題の解決に積極的に尽力するとの姿勢が顕著である。特に、最近では、米軍駐留の円滑化を図る上で重要な役割を果たす広報面を担当する米軍士官が、本件セミナーへの参加により得られた識見を有効に活用している例が見受けられる。また、本件セミナーは在京米国大使館、在日米軍の極めて高いレベルの幹部が極めて高い評価を行っている。 一般競争入札によりイディオリンク株式会社に業務を委託し、支出した。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	――		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
――			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について 記載する。費 目と使途の双方 で実情が分かる ように記載)	A.イディオリンク株式会社					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	食費	弁当、水、コーヒー、国会議員との 朝食会、レセプション経費等	0.5			
	宿泊費	参加者宿泊費	0.4			
	謝礼	講師謝礼	0.2			
	車両	車両借上げ	0.2			
	人件費	エスコート、通訳	0.1			
	その他	機材借り上げ	0.10			
	計		1.5	計		0.0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0.0	計		0.0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0.0	計		0.0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0.0	計		0.0
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0.0	計		0.0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	イディオリンク株式会社	セミナー開催のための業務委嘱	1.5	3	73.4%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					